



市民の伊勢志摩サミット@四日市 2016年5月23日・24日
(ぜひ全体のスケジュールをご覧ください <http://tokai.on.jimdo.com/>)

グローバル化 と 草の根の人びとの健康

四日市の経験に学び、南インドで起こっていることを考える

とき： 2016年 5月23日(月) 16:00~18:30

ところ：じばさん三重(近鉄四日市駅から徒歩5分)

四日市市安島1丁目3-18 電話:059-353-8100

★参加無料

開発途上国の草の根の人びとの暮らしや健康は、グローバル化や経済発展の陰で、脅威にさらされています。例えば南インド、タミル・ナド州の経済特区の開発では、そこに暮らしていたダリット(カースト制度の底辺に置かれた人びと・被差別民)の人びとは、それまでの生活や生業が営めなくなり、健康への影響も心配されます。

当事者以外に市民活動家や研究者など多様なアクターが連携し、患者への支援と規制を実現した四日市公害の経験。それをひもときながら、国際協力を通して途上国の人びとの健康に協力しようとする立場から何を学ぶことができるか、一緒に考えてみませんか。



■インド、タミル・ナド州の 経済特区の事例から

草の根の人びとの生活は？
彼らはどう動いた？

話し手：深澤あかりさん・山田紗帆さん
(名古屋外国語大学大学生・2015年
AHIスタディツアー参加)

■「四日市」の経験とは

話し手：山本勝治さん
(四日市再生「公害市民塾」)

■小グループで考える

- 「四日市」から何を学び、どう生かすか
- *より大きな広がりを作り出すために
- *「責任的な」経済活動を求めるために

担当団体：(一社) Bridges in Public Health <https://www.facebook.com/biph.adm/>

(公財) アジア保健研修所(AHI) 愛知県日進市米野木町南山 987-30 Tel: 0561-73-1950

info@ahi-japan.jp <http://www.ahi-japan.jp> お問い合わせはAHIまでどうぞ。